

ホタテガイ養殖管理情報

青森県 青森地方水産業改良普及所
むつ水産事務所
水産振興課

青森市水産振興センター

稚貝のサイズが大きいので 早めに分散作業を進めましょう

1 海況

9月17日時点の陸奥湾の中層(10~15m層)の**日平均水温は、ほとんどの地点で23℃以下になっています**(図1)。詳しくは、陸奥湾海況情報や海ナビ@あおもり(下記URL、QRコード)をご覧ください。

2 稚貝の状況について

9月9~17日に湾内9地点で中段1段の**未分散稚貝**の成育状況を調査しました。

稚貝の平均殻長は西湾で22.6mm、東湾で21.8mmと平成12年~令和元年の高水温年を除く平均値(平年値)それぞれ21.0mm、19.1mmより大きいサイズとなっています。また、へい死率は西湾で1.7%、東湾で2.5%とそれぞれの平年値3.5%、5.1%よりかなり低い値となっています(表1)。

3 稚貝分散作業時の注意点

- 現在、多くの地点で中層水温が**稚貝が成長する23℃以下**になっています。
- **分散が遅れると、稚貝の成長悪化や、異常貝増加によるへい死につながる**ので、**早めに作業を進める**ようにしましょう。
- **収容枚数が多い場合や新貝と成貝向けの稚貝分散は10月末までに、収容枚数が少ない場合や半成貝向けの稚貝分散は遅くとも11月末までに終わらせる**ようにしましょう。
- 1段当りの収容枚数が200枚台と多い地点が見られます。**収容枚数が多いと成長悪化やへい死につながる**ので、養殖方法に応じた**適正な収容枚数(1段当り10~20枚)**を心がけて作業してください。
- **稚貝は乾燥にも弱い**ので、手早く作業を行いましょう。
- 潮流によるぶつかり合いで、外套膜(ヒモ)が傷ついてへい死しないように、**ネットにはオモリをつけましょう**。また、潮流が速い場合は、作業を控えましょう。
- 作業終了後は波浪によるぶつかり合いを防ぐために、**施設を浮かせずぎない**ようにしましょう。

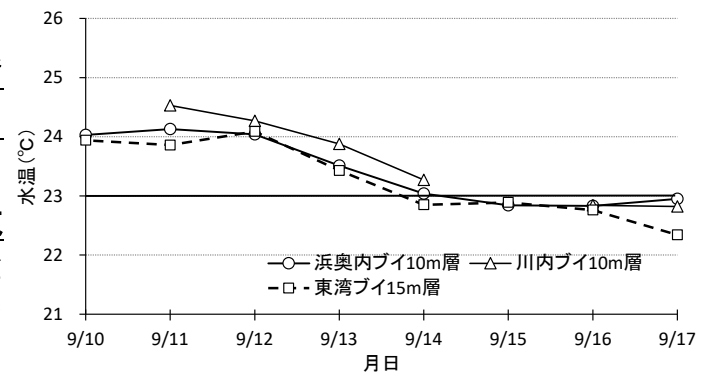
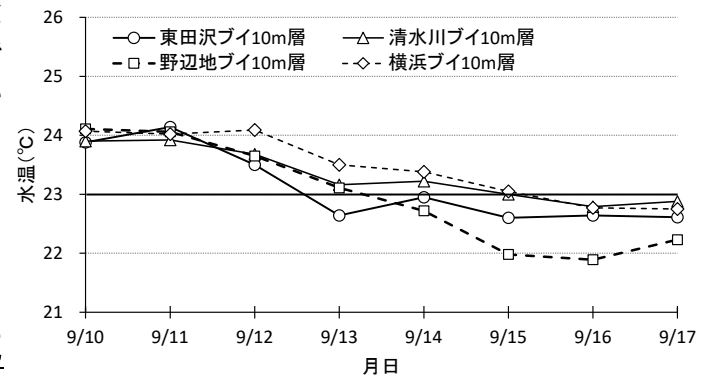
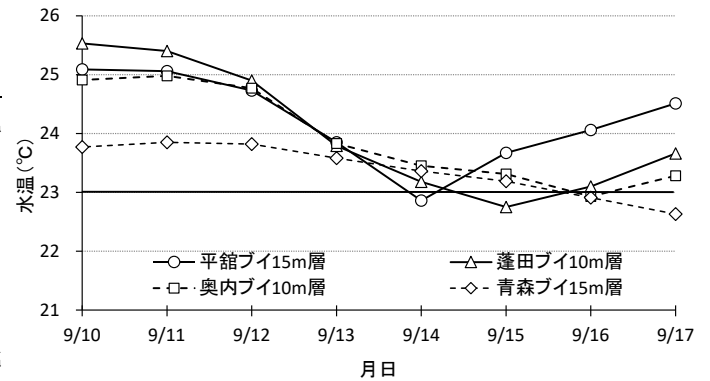


図1 海況自動観測ブイ(15m層)と水温観測ブイ(10m層)での日平均水温の変化

表1 令和2年産未分散稚貝(目合2分のパールネット中段1段)の成育状況

調査場所	調査月日	幹綱水深(m)	稚貝採取月日	稚貝採取時の篩いの目合(分)	錘の有無・種類	生貝数(枚)	死貝数(枚)※	へい死率(%)	異常貝率(%)	サンカクジツボ付着数(個/稚貝)	平均殻長(mm)
A	9月16日	20	7月末	2.3	鉛100匁	90	2	2.2	2.2	27	22.0
B	9月16日	11	7月22日	2.3	太棒11段	192	9	4.5	0.0	19	21.4
C	9月10日	25	7月10日	2.0	鉛50匁	132	0	0.0	0.0	1	21.9
久栗坂実験漁場	9月9日	30	7月3日	2.3	コンクリート2kg	76	0	0.0	3.9	22	25.3
西湾平均						123	3	1.7	1.5	17	22.6
D	9月16日	12	7月1日	2.0	鉛75匁	89	2	2.2	0.0	2	21.9
E	9月16日	10	6月12日	2.2	鉛100匁	115	4	3.4	0.0	39	23.9
F	9月11日	20	7月20日	2.2	コンクリート500g	90	4	4.3	0.0	18	21.1
G	9月17日	40	8月1日	2.2	鉛75匁	186	5	2.6	0.0	15	19.8
川内実験漁場	9月9日	23	7月20日	2.3	コンクリート2kg	62	0	0.0	0.0	40	22.2
東湾平均						108	3	2.5	0.0	23	21.8

※成長後の死貝数



①



②